

生徒会と育友会が懇談

城南中 学校生活の要望伝える

新宮市立城南中学校で24日、後期生徒会役員と育友会（高塚高子会長）の懇談会が開かれた。前期生徒会が提出した要望について意見を出し合い、その後、生徒が学校生活で今困っていることなどに育友会が耳を傾け、交流を深めた。

この取り組みは今年



生徒会の意見に耳を傾ける育友会

人の副会長、会計監査の中浦陽子さんが、生徒会副会長の板谷観来さん、天野川美緒さん、会計の橋本空羽くん、書記の永野太一くんの3年生5人が出席。

高塚会長から前期生徒会の要望であった体育祭の縦割りについてはと聞かれ、生徒会から「今年度から縦割りで実施したが、よかった」と回答。防災訓練も縦割りで行っていきなした。

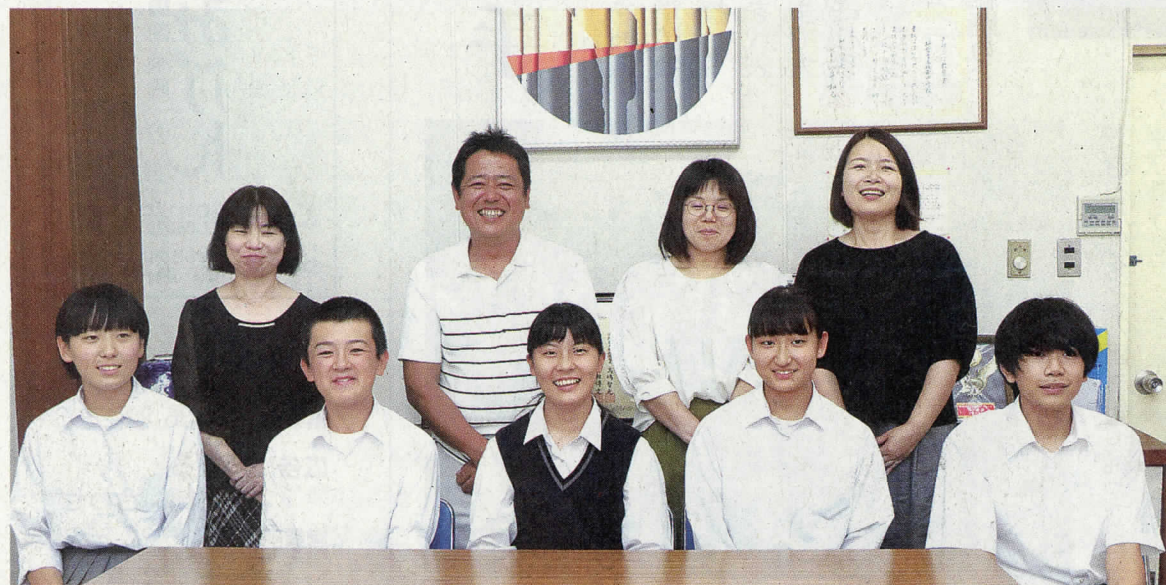
また、▽洋式トイレの増設については、現状で満足している▽社会室と美術室のエアコン設置に

ついては、今後アンケートを取り、優先順位を付け要望していく▽夏場の登下校の日傘や帽子の着用を認めてほしい▽体育の授業が終わった後、体操服で次の授業を受けたい▽体育の授業に汗を拭くためのタオルを持参したいなどの意見が寄せられた。

高塚会長は「君たちの代で実現できなくても、後輩の時代に実現できるよう、ドンドン要望を挙げてほしい。言いにくいことがある場合は、個人的に相談して」と呼び掛け、役員らもエールを送っていた。

育友会では12月中旬の日曜日に、経済的な問題を解決するためのバザーを予定している。

（茂村振五）



参加した育友会と生徒会の皆さん